

BS アナログ放送に関するアンケート

テレビ放送受信機器に関する維持管理費削減の可能性を探るため、当マンションにおける BS アナログ変換放送の視聴状況につき調査を行いたいと思います。

現在当マンションにおいては、変換装置を用いて BS アナログ放送を UHF の空きチャンネルに変換することで、BS アナログチューナーの無いテレビでも BS アナログ放送(NHK 衛星第一と第二)が視聴できるようになっています(それぞれ UHF 波の 52 および 54 チャンネルに変換)。これは BS アナログ放送が開始された頃(約 20 年前)、BS チューナー付きテレビが一般的でなかったため暫定措置として設けられた設備が今も残っているものです。

これらアナログ放送は 2011 年に廃止される予定で、変換用機器の維持管理費用もその時点で不要となります。一方、各住戸でのテレビ買い替えが進んだため、あるいは視聴傾向の変化などにより、こうした設備が現時点ですでに利用されていないとすれば、2011 年を待たずに設備を廃止して維持費を削減することも出来ることとなります。なお、BS アナログの UHF 変換はケーブルテレビデジタル化の障害になっているため、廃止によりデジタル化が可能になります。

今回のアンケートは、BS アナログの UHF 変換視聴がどの程度利用されているかを把握し、関連経費の削減の可能性を探るために実施するものです。ご協力よろしくお願い致します。

----- ✕ ----- ✕ ----- キリトリ線 ----- ✕ ----- ✕ -----

アンケート回答用紙

_____ 棟 _____ 号室

◆ 該当部分の に (チェックマーク) を記入してください。

- BS アナログチューナーが無く、UHF 変換視聴(52 および 54 チャンネル)を利用している。
- BS アナログの UHF 変換視聴がなくてもかまわない。(BS デジタルを視ているので BS アナログは不要、テレビに BS アナログチューナーがついているので UHF 変換放送は不要…等々)
- よくわからない。

その他、ご意見・ご質問など:

- 2 月 29 日(金)までに、各棟エレベーターホールの、あるいは管理事務所の収集箱に投函して下さい
- 棟・号室を必ず記入下さい。